

# 歳末特別警戒を実施

問い合わせ 富田林警察署(☎25) 1234

年末年始は、現金を狙ったひったくりや空き巣などの侵入犯罪、特殊詐欺の被害が多発することが予想されます。皆さんも次のようなことに注意して、被害を防止しましょう。

## ●特殊詐欺の被害防止

・オレオレ詐欺の犯人は、子や孫を名乗り「風邪をひいて声がおかしい」「携帯電話の番号が変わった」などとだましてくるので、必ず元の登録している子や孫の電話番号にかけ直して確認しましょう。

・警察官や金融機関職員などになりすまし、偽のカードとすり替える詐欺が発生しています。他人にキャッシュカードは絶対に渡さない、暗証番号は絶対に教えないようにしましょう。

●ひったくりの被害防止  
・手荷物は車道と反対側にしっかりと持ち、自転車のカゴにはひったくり防止カバーを付けましょう。

●自動車盗、車上狙いの被害防止  
・自動車を駐車するとき

は、エンジンキーを抜き、ドアロックをしましょう。

また、防犯装置を付けるようにしましょう。

・車内に現金や貴重品などを置いたまま車から離れるのはやめましょう。

## ●子どもや女性に対する犯罪の被害防止

・一人で遊んだり、知らない人についていったりしないようにしましょう。

・夜間の一人歩きは特に気を付け、明るく人通りの多い道を選びましょう。

・歩きながらのスマートフォン・携帯電話の操作や、イヤホンの使用は不審者に狙われやすくなり、危険なのでやめましょう。

## ●侵入犯罪の被害防止

・玄関や窓は、防犯性能が高い施錠器具に取り替えたり、補助錠を取り付けたりしましょう(ワンドア・ツーロック)。

・短時間の外出時でも必ず戸締まりをしましょう。また、在宅中でも施錠しましょう。

・家の周りは夜間でも明るく、見通しの良い環境にし、センサーライトや警報装置などの防犯器具を活用しましょう。

## 地域を守る、お巡りさん 駐在さんインタビュー



12月には、歳末特別警戒が実施されます。特別警戒期間を前に、地域の安全を守る駐在所の駐在さんにお話を伺いました。  
今回、お伺いしたのは本市唯一の駐在所である東条駐在所の山本警部補です。

—富田林市の各地域には「交番」や「駐在所」があります。まずは交番と駐在所の違いと、役割を教えてください。

**東条駐在所・山本警部補** どちらも地域の安全を守る拠点という意味では同じです。ただ、交番は交代制で勤務しているのに対して、駐在所は勤務する警察官が駐在所に居住して勤務することが大きな違いです。

—1日のお仕事の内容は。

**山本警部補** 朝夕の通学路などでの学童警戒、パトカーなどで地域を回る防犯パトロール、地域の各ご家庭を訪問し、不審な点やご意見などのお話を伺って回る巡回連絡、事件・交通事故などの受理といった業務を行っています。

—地域の駐在さんとして、地元住民の皆さんとの関わりを教えてください。

**山本警部補** 駐在所では、家族で居住して勤務していますので、パトロールなどで不在の時は、妻が対応することも多く、地域の皆さんとは家族ぐるみでのお付き合いをさせていただいています。

また、町会活動への参加などを通じて、顔なじみもたくさんできました。

—住民の一人として、またご家族の協力も得ながら業務をされているところが駐在所の特徴ですね。ところで、今般の

新型コロナウイルス感染症では業務に影響はありましたか。

**山本警部補** コロナであっても業務を止めるわけにはいきませんので、仕事そのものは変わりません。ただし、感染症対策には万全を期すようにしています。

—詐欺など、市民に特に気を付けてほしいことはありますか。

**山本警部補** 現在、富田林警察署管内では、特殊詐欺に関する電話が高齢者宅を中心にかかっています。「還付金」という言葉や「利用している銀行」「暗証番号」を聞き出すような電話は詐欺ですので、すぐに電話を切り、富田林警察署へ連絡してください。

—最後に、市民の皆さんに一言お願いします。

**山本警部補** 師走を迎え、今年も残すところあと一カ月となりました。

歳末のこの時期、富田林警察署では各種の事件、事故の抑止・検挙を図るために歳末特別警戒を実施しています。市民の皆さんも、事件や事故を見掛けられた際は、110番通報のご協力をお願いします。

大阪府富田林警察署東条駐在所  
山本警部補



# 感染リスクが高まる「5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」

国が開いた新型コロナウイルス感染症対策分科会では、冬に備えてクラスターの連鎖を抑えるため、10月23日、感染リスクを高めやすい「5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を取りまとめました。

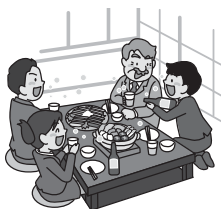
市民の皆さんも、感染拡大防止のため、以下の点に注意しましょう。

問い合わせ 健康づくり推進課 ☎(28)5520

## 感染リスクが高まる「5つの場面」

### 場面① 飲酒を伴う懇親会など

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、回し飲みや箸などの共用が感染リスクを高める。



### 場面② 大人数や長時間に及ぶ飲食

- ・長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



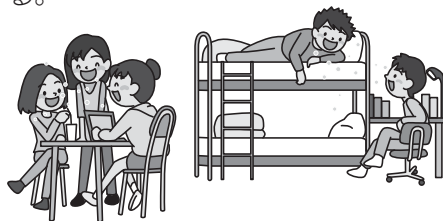
### 場面③ マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



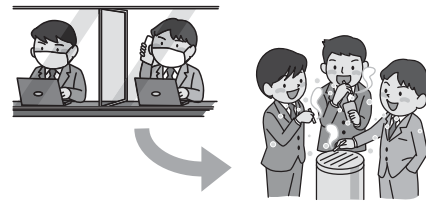
### 場面④ 狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



### 場面⑤ 居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



## 富田林保健所・永井所長から皆さんへ

市民の皆さま、コロナ禍での感染予防策を講じながらの生活へのご協力ありがとうございます。

富田林保健所管内でも11月以降、感染者の増加が続いております。陽性者の方々に行動歴を伺いますと、多くの方が「飲み会」「食事会」があったと話されます。いま一度、感染リスクを下げる工夫をしながら、年末年始をお迎えください。



永井 仁美所長

## 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、②なるべく普段一緒にいる人と、③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
  - ・箸やコップは使い回さずに、一人一人です。
  - ・座の配置は斜め向かいに。(正面や真横はなるべく避ける)
  - ・会話する時はなるべくマスクを着用。
  - ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドラインを順守したお店で。
  - ・体調が悪い人は参加しない。
- ※お店の皆さんも、ガイドラインの順守など、感染拡大防止対策にご協力ください。

## 飲酒の場合も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと

- ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・集まりは、少人数・短時間にして。
- ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。